防テクPFのマッチング事例について

令和４年度防テクPFを通じたマッチング事例

○防テクPFを通じて、 45件（17自治体,30企業）の事例がマッチング。
※防テクPFマッチングサイト登録件数：地方公共団体等 207件　民間企業等　619件（令和４年度９月末現在）
○上記のうち、実際に先進技術導入に向け、打合せや実証実験が進展している事業は23件。

【進捗度】

①打合せ中

- 埼玉県上里町
  ファーストメディア
- 岩手県岩泉町
  ウェザーニューズ
- 徳島県藍住町
  ウェザーニューズ、ZAICO
  ゼンリン、ドーン
- 福岡県うきは市
  アジア航測
- 新潟県
  国際航業、ＪＸ通信社

②実証中

- 岩手県釜石市×Spectee
  （SNS等からの収集した情報等とAIとを活用した防災・危機管理ソリューション）
- 徳島県藍住町
  三井住友海上
- 徳島県藍住町
  （ハイブリッドカー用電源キット）

③予算検討中

- 京都府福知山市
  （被害情報の効率的な集約・共有）
- 京都府福知山市
  （避難情報等発令支援システム）
  ※11月契約締結予定
- 青森県むつ市
- 佐賀県嬉野市
- 宮城県気仙沼市
- 新潟県長岡市
- 高知県南国市

④予算確保済み

- ■愛媛県松山市
  （紙ベースの避難対応表のデジタル化やプッシュ型通知機能を付与したシステム）
- ■長崎県佐世保市
  （災害情報共有システムの導入）

次ページ以降
詳細ご説明

南国市の概要

▶人口：４６，４２１人（令和４年９月末）

▶面積：１２５.３０㎢

▶特徴：高知県の中央部に位置し、土佐の稲作の発祥の地と言われ、恵まれた自然と環境を生かして米の二期作や施設園芸を中心に発展しました。高知の空の玄関口である「高知龍馬空港」があり、沿岸部には南海トラフ地震による津波に備え避難タワーを１５基設置しています。

津波避難タワー

南海トラフ沿いで発生した地震記録一覧

- 1361年正平地震（M8.4）
- 1498年明応地震（M8.3）
- 1605年慶長地震（M7.9）
- 1707年宝永地震（M8.6）
- 1854年安政南海地震（M8.4）
- 1944年昭和東南海地震（M7.9）
- 1946年昭和南海地震（M8.0）

- 南海トラフ沿いの地域においては、これまで100年から150年の周期で大規模な地震が発生し、大きな被害を生じさせており、この地域におけるＭ８～Ｍ９クラスの地震の※30年以内の発生確率は70～80%とされています。（2021年１月１日現在）

※政府の地震調査研究推進本部
地震調査委員会における長期評価

南国市　ニーズの背景

過去数年大規模災害の経験なし

災害対応業務のアナログ化

・Excelでの情報管理
→資料作成等が煩雑
・口頭での情報伝達
→適切な情報が伝わらない
☛情報をより迅速に簡易に
災害対応各部署へ周知する必要

市役所内各部署の役割分担が曖昧に

・市内各部署の災害対応の
経験が少ない
→災害時役割の認識不足

☛平時より災害時の役割を
各部署が把握する必要
（必要な情報の早期提供）

災害対策本部システムの導入を検討

南国市　防テクPF登録状況

南国市

更新日時：[2022年07月07日 11:07]

フェーズ：　平時　切迫　**応急**　**復旧**

災害種別：　**風水害**　**地震**　土砂　**津波**　火山　雪害　火災　その他

キーワード：　情報収集、安否確認、早期被害想定、本部運営支援システム

ニーズ等の詳細

発災時の被害状況を把握する手段がない。
職員等が被害状況を報告し、災害対策本部で管理できる運営システム。

予算規模

予算規模は未定

導入予定時期

未定

担当者連絡先

部署名：　危機管理課

担当者名：　坂口 翼

電話番号：　088-880-6575

メールアドレス：　n-kikikanri@city.nankoku.lg.jp

・令和４年６月９日に登録
・「キーワード」「ニーズの詳細」を細かく記載

南国市　マッチング経緯と現況

時期	経緯
R４．６～	・**マッチングサイトに登録し、情報収集開始** ニーズ：発災時の被害状況を把握する手段がない。 職員等が被害状況を報告し、災害対策本部で管理するシステム。
R４．７～	・**８社から売り込みあり** うち６社は防テクPF登録、他は地元企業 ・**オンライン会議で簡易な情報収集を実施** 会議により情報のスクリーニングを行う
R４．８～	・８社のうち、**ニーズに適合する可能性がある３社と詳細の打合せを実施** ・南国市より**要求事項を提示** ・今後、**大規模災害を想定した実験を行う予定**

☛ **登録から２か月で詳細打合せ・デモ調整まで実施**

マッチング事業者への要求事項

・災害発生時の災害対策本部運営で使用するシステムを検討
・具体的には、①災害の記録 ②被害情報の報告管理
③職員への対応指示 ④過去の発災対応記録
を総合的に管理できるシステムを検討。
・まずは既存システムのデモを依頼。
・市の現状に合わせ、適切な追加機能等をご提案頂きたい。

☛ポイントは…
・**システム使用場面**を明確化
・**要求する機能**を明確化
・**既存システムの検討・デモ**により、南国市の真のニーズを検討
※依頼段階から真のニーズにはたどりつけない

南国市　予算検討状況について

予算確保に向けたスケジュール

10月中旬　　11月下旬

南国市
DX推進計画

各部署検討 → 事務局検討 → 決定

南国市
予算申請関係

各部署検討 → 事務局検討 → 決定

○月下旬

・**予算申請に向けた検討・デモ**を実施中
・並行して、**南国市DX推進計画（※）**に
「災害対策本部システム」を位置づけるべく、検討実施中。

※国の「自治体DX推進計画」「自治体DX推進手順書」にて、各自治体へDX推進計画を策定することが助言されている。

南国市DX推進計画　災害対策本部DX事業（提出検討中）

項目	内容
事業名称	○**災害対策本部DX事業** 【災害対応（災害時オペレーション）システムの導入】
事業の内容	○災害発生時に被害情報や避難所情報をはじめとする**各種情報を収集・一元管理**することにより、本部長をトップとする**災害対応の指揮命令系統の確立及び的確な指示を行うことを目的**とする。 ○主な機能として、下記を想定。 ・職員参集/管理機能　・被害情報の整理機能（GISベース） ・クロノロジー機能　・避難所管理機能 ・備蓄品管理機能　・各部対策のタイムライン整理/表示機能
期待される効果	○**迅速な指揮命令系統**の確立 ○**的確な応急対応対策**の指示 ○**被害情報収集～応急対応～県・国への報告までを一貫して行う**ことによる**災害対策員（職員）の業務の軽減** ○平時から使用し情報共有の場とすることによる災害対策本部業務に対する**職員の意識向上、事前予防対策の把握と実施** ○**災害対応記録を蓄積、分析**することによる**災害対応の質の向上**

南国市　取組状況まとめ

✓　防災に関する課題の整理

・おおまかな課題（内容・場面・時期）を整理
・詳細は固めず、概要を整理し防テクPF登録

✓　企業とのマッチングについて

・まずはオンライン会議で商品概要を把握
・課題解決に資する商品に絞り、詳細ヒアリング
・要求事項を整理、かつ追加機能提案を求め、
　企業との打合せ・商品デモの中で真のニーズを把握

✓　予算検討状況について

・市内で予算要求に向け打合せ・デモ等実施中
・「DX推進計画」に位置付け、市内のプレゼンス向上を目指す